



2022年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年5月9日

上場会社名 株式会社 ハンズマン

上場取引所 東

コード番号 7636 URL <https://www.handsman.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大藪 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 田上 秀樹 TEL 0986 - 38 - 0847

四半期報告書提出予定日 2022年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期第3四半期の業績(2021年7月1日～2022年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第3四半期	22,683	△11.5	1,469	△27.3	1,633	△27.0	1,121	△27.3
2021年6月期第3四半期	25,621	11.6	2,021	38.2	2,238	37.2	1,542	38.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第3四半期	79.19	—
2021年6月期第3四半期	108.70	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第3四半期	19,965	16,063	80.5
2021年6月期	20,330	15,682	77.1

(参考)自己資本 2022年6月期第3四半期 16,063百万円 2021年6月期 15,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2022年6月期	—	0.00	—	—	—
2022年6月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年6月期の業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,450	△4.7	2,076	△19.2	2,307	△19.1	1,598	△20.5	113.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年6月期3Q	14,509,800 株	2021年6月期	14,509,800 株
② 期末自己株式数	2022年6月期3Q	484,900 株	2021年6月期	277,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年6月期3Q	14,158,790 株	2021年6月期3Q	14,191,702 株

(注)ESOP信託口が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する株式に含めております(前第3四半期累計期間305,330株、第3四半期累計期間223,250株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ワクチン接種の普及により一時持ち直しの動きが見られたものの、新たな変異株の拡大を受け、再び経済活動が抑制されるなど引き続き厳しい状況で推移いたしました。さらに足元では、資源価格や原材料価格の高騰、円安の進行による物価上昇も加わり、個人消費を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような状況の中、当社はお客様と従業員の安全を最優先に考えた店舗運営に取り組みながら、これまで同様「お客様の声」をもとにした品揃えの拡充と売場改装を積極的に推進するとともに、売場スタッフのコンサルティング販売能力の向上を目的とした商品取扱実技研修会を定期的で開催するなど、より多くのお客様に喜ばれ、お役に立てる施策を継続的に実践しております。また、2023年秋にオープン予定の松原店（大阪府）につきましても、売場のシミュレーション等、開店へ向けた準備を順調に進めております。

当第3四半期累計期間における全店ベースの来店客数は前年同期比90.6%、客単価は同97.7%となり、売上高は同88.5%の226億83百万円となりました。前期はコロナ禍を背景とする巣ごもり消費や感染対策用品の需要の高まり、さらには大型台風の接近に備えた防災用品の需要の高まりにより売上が大きく伸びていたことから、当期はその反動があったことが大きく影響しております。

利益につきましては、売上総利益率が前年同期比0.2ポイント伸長の31.9%となり、また、販売費及び一般管理費は人材派遣費用の減少等により前年同期比94.8%となりましたが、売上の反動減の影響が大きく、営業利益は同72.7%の14億69百万円、経常利益は同73.0%の16億33百万円、四半期純利益は同72.7%の11億21百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヵ月未満の店舗を新店と定義しており、当第3四半期累計期間においては全11店舗が既存店となることから、来店客数・客単価・売上高の各数値は全店（既存店）の数値となります。

部門別の業績は次のとおりであります。なお、当社は単一セグメントであるため、商品区分別により記載しております。

(単位：百万円)

部門別	前第3四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)		増減額	前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
<DIY用品> ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	14,408	56.2%	12,934	57.0%	△1,473	89.8%
<家庭用品> 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気資材用品、収納用品、住宅設備用品、季節用品	7,984	31.2%	6,842	30.2%	△1,141	85.7%
<カー・レジャー用品> カー用品、アウトドア用品、ペット用品、文具	3,229	12.6%	2,905	12.8%	△323	90.0%
合計	25,621	100.0%	22,683	100.0%	△2,938	88.5%

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ3億64百万円減少の199億65百万円となりました。これは主に商品が1億25百万円、有形固定資産が4億63百万円増加した一方、現金及び預金が10億26百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ7億45百万円減少の39億1百万円となりました。これは主に買掛金が1億77百万円増加した一方、未払法人税等が5億33百万円、その他流動負債が2億11百万円、長期借入金が1億60百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ3億80百万円増加の160億63百万円となりました。これは主に自己株式の取得が4億10百万円、剰余金の配当が4億34百万円あった一方、四半期純利益を11億21百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期の業績予想につきましては、2021年8月10日に公表しました予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,903	2,877
売掛金	429	495
商品	5,831	5,957
貯蔵品	38	40
その他	191	212
流動資産合計	10,394	9,582
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,808	4,678
土地	2,091	2,140
その他(純額)	1,006	1,551
有形固定資産合計	7,907	8,370
無形固定資産		
投資その他の資産	218	229
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	768	760
その他	1,041	1,021
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,809	1,782
固定資産合計	9,935	10,382
資産合計	20,330	19,965
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,969	2,147
短期借入金	160	160
未払法人税等	555	21
その他	1,196	984
流動負債合計	3,881	3,313
固定負債		
長期借入金	240	80
資産除去債務	318	323
その他	207	184
固定負債合計	766	588
負債合計	4,647	3,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057	1,057
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	13,909	14,596
自己株式	△356	△663
株主資本合計	15,697	16,076
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14	△12
評価・換算差額等合計	△14	△12
純資産合計	15,682	16,063
負債純資産合計	20,330	19,965

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)
売上高	25,621	22,683
売上原価	17,509	15,439
売上総利益	8,112	7,243
販売費及び一般管理費	6,091	5,774
営業利益	2,021	1,469
営業外収益		
受取手数料	114	110
投資不動産賃貸料	85	87
雇用調整助成金	44	—
その他	15	6
営業外収益合計	259	204
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	32	31
その他	9	8
営業外費用合計	42	39
経常利益	2,238	1,633
税引前四半期純利益	2,238	1,633
法人税、住民税及び事業税	652	436
法人税等調整額	43	75
法人税等合計	695	512
四半期純利益	1,542	1,121

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用による四半期財務諸表に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。